

福知山市新文化ホール整備
基本構想・基本計画検討委員会
(第3回)

2022 (令和4) 年 9月20日 (火)

もくじ

1. 前回委員会のまとめと質問事項の確認
2. 市民意見の収集（文化振興基本方針策定時の市民意向調査）
3. 市民意見の収集状況
ヒアリング結果（まとめ）
Webアンケート（中間報告）、WS（中間報告）
4. 新文化ホールの基本理念（案）
5. 施設等の概要（案）
6. 管理運営の考え方（案）

1. 前回委員会のまとめと質問事項の確認

主な意見・確認事項など

■ 前回のまとめについて

- 基本構想・計画の検討において、「ソフトの視点こそ」重要である。

■ 基礎調査について

- 「活動」によりフォーカスすべきである。
- ヒアリングのまとめでは、文化団体はさまざま一括りにはできないので、団体を細分化しまとめること。
- 「練習」は各施設での違いを分析することが重要で、ヒアリング結果を整理して傾向を分析すること。
- 市民交流プラザでの活動は、施設ができたことにより生まれた活動である可能性があり、データがあれば比較してほしい。

※ 質疑

- P8の催事の利用者数平均500人の利用ジャンルは舞台芸術のみか。
→大会、式典、イベント等も含んでいます。
- ホール使用者の有料/無料の公演の割合はわかるか。
→有料公演は非営利利用の7件のみ。営利利用での有料公演はなし。

主な意見・確認事項など

■新文化ホールの役割について

- ホールは文化政策の顕れである。
- 鑑賞以外にも芸術と触れる様々な機会を作ることが大切である。
- (3) 市民の文化活動・交流拠点の創出と(4) 日常的な賑わいの創出は一つにまとめても良い。
- 広場機能など、交流がつくられていくきっかけをつくる機能は重要である。
- (6) まちづくりへの寄与においては、水害リスクを考えると安全・安心ということを入れておくのが良い。

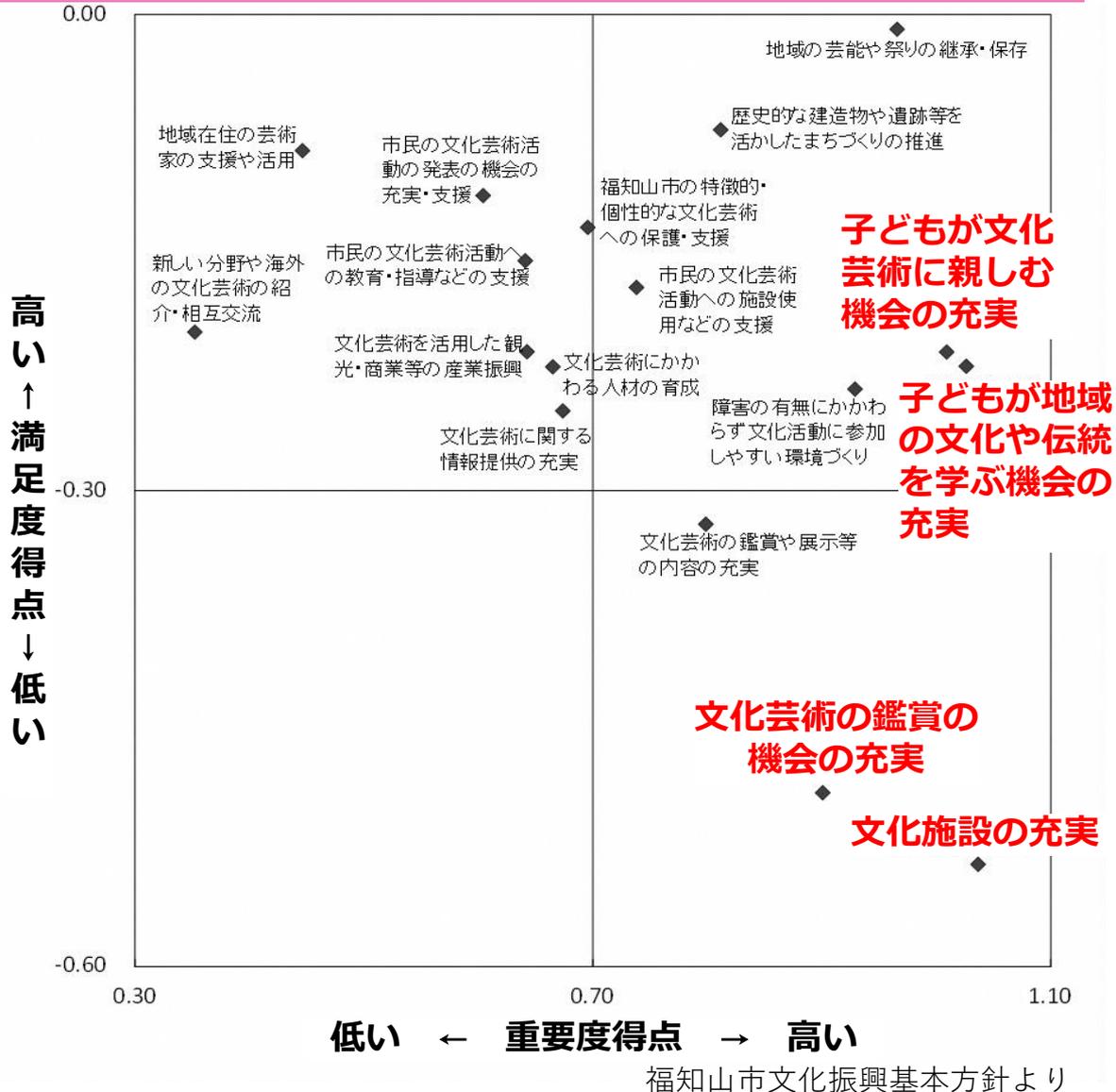
2. 市民意見の収集 (文化振興基本方針策定時の市民意向調査)

文化振興基本方針策定時の市民意向調査

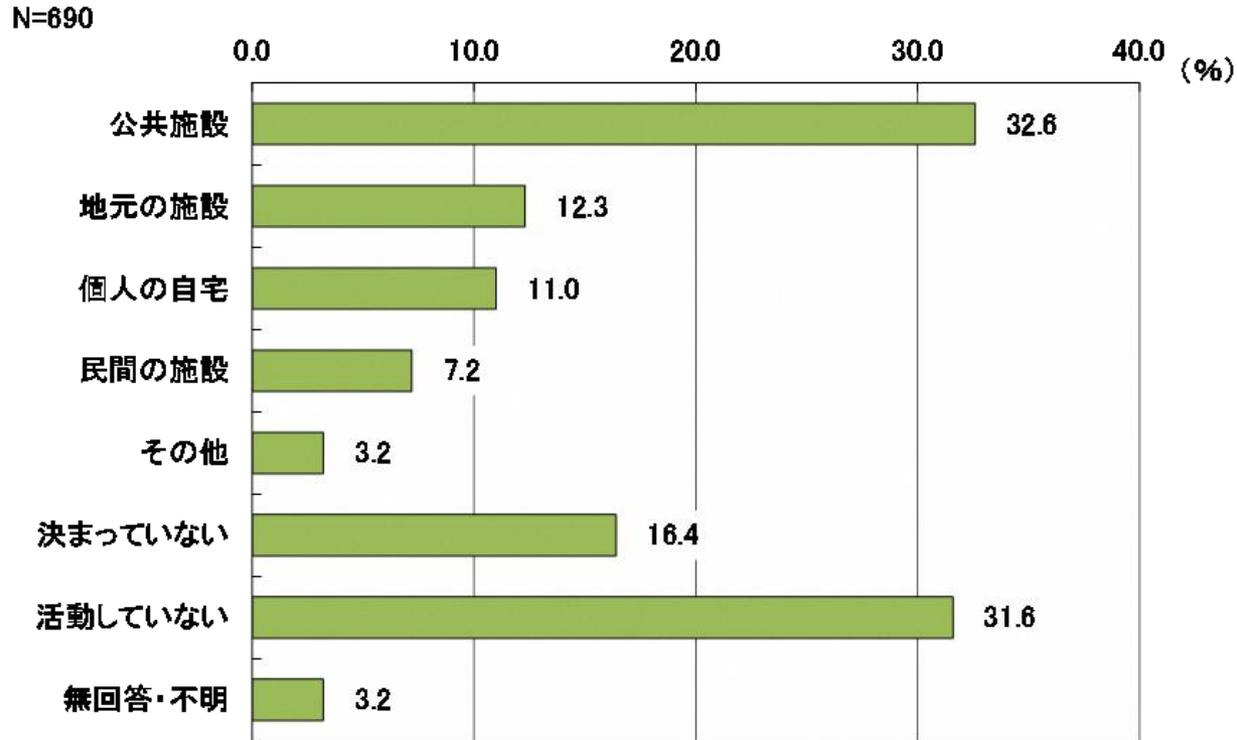
本市の文化振興に関わる施策についての市民の評価は、重要とする程度に比べて満足とする程度が低く、全体的に満足度が低いことが伺われます。

「文化施設の充実」や「文化芸術の鑑賞の機会の充実」の分野については、重要だと考える人が多い一方で満足度が低く、取り組みの優先度が高い分野と言えます。

また、「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」「子どもが地域の文化や伝統を学ぶ機会の充実」といった子どもを対象とした施策へのニーズが高い傾向が見られました。



文化振興基本方針策定時の市民意向調査

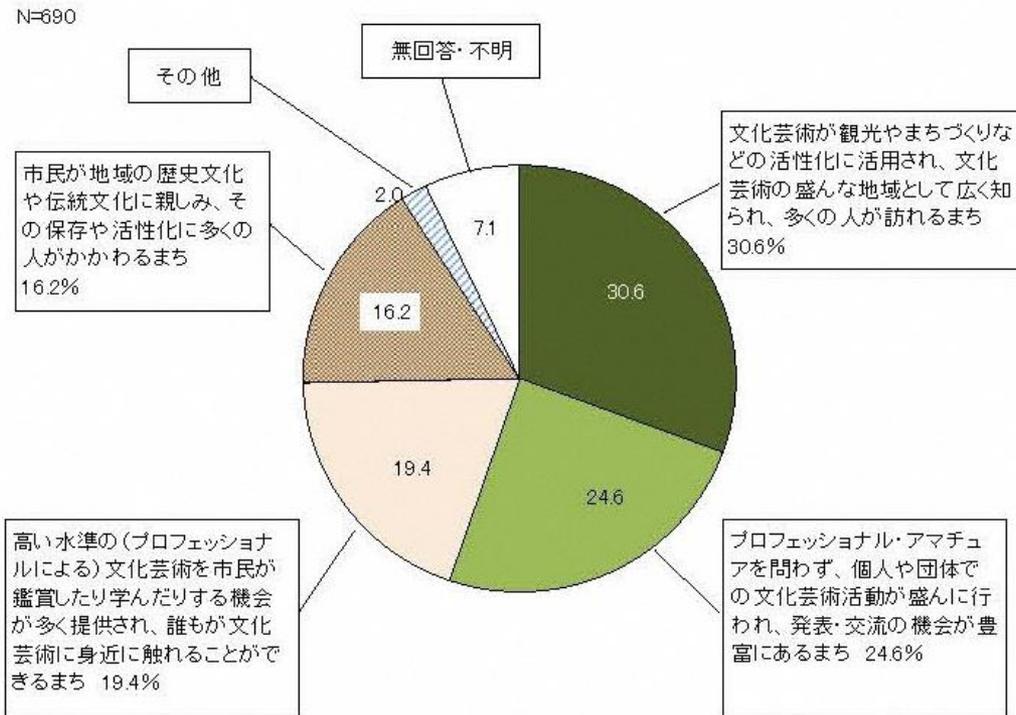


福知山市文化振興基本方針より

【文化芸術にかかわる活動を主に行う場所】

文化芸術活動を主に行う場所としては、**公共施設(32.6%)**を挙げる人が多く、市民の文化活動を促進するうえで、重要な役割を担っていることが伺えます。

文化振興基本方針策定時の市民意向調査



福知山市文化振興基本方針より

【福知山市の文化芸術振興の目指すべき将来像】

文化芸術振興の目指すべき将来像としては、「文化芸術が観光やまちづくりに活用され、多くの人が訪れるまち」(30.6%)への支持が最も高くなっていますが、「プロ・アマ問わず活動が盛んに行われ、発表・交流の機会が豊富にあるまち」(24.6%)、「鑑賞機会が多く提供され、誰もが文化芸術を身近に触れることができるまち」(19.4%)、「市民が地域の歴史文化や伝統文化に親しみ、その保存や活性化に多くの人がかかわるまち」(16.2%)、それぞれの項目で一定数の支持を得ていることから、多面的な視点での文化振興が求められています。

3. 市民意見の収集状況 ヒアリング結果（まとめ）

実施概要	…11 p
ヒアリング参加者一覧	…12 p
活動状況	…13～16 p
現厚生会館について	…17～21 p
市内近隣施設	…22～23 p
新施設に望むこと	…24～25 p
各項目のまとめ	…26～28 p

ヒアリング結果（まとめ）

■ 実施概要

	日時	場所	参加団体・ 人数
第1回	8月8日 (月)	厚生会館 中会場	12団体
第2回			3団体
第3回			9団体
第4回	8月9日 (火)		11団体
第5回			8団体
第6回	8月29日 (月)		9団体
第7回	8月30日 (火)		3団体

計 55団体

NO.	カテゴリー	通知 団体数	参加 団体数
1	文化系活動 団体	46	28団体
2	学校 (吹奏楽部等)	9	6団体
3	子育て	2	3団体
4	障害者支援	4	3団体
5	商工観光	5	8団体
6	楽器店	3	3団体
7	地域・ 高齢者団体	4	2団体
8	照明技術者	2	2団体

ヒアリング結果（まとめ）

■ヒアリング参加者一覧

No.	カテゴリー	団体名、活動内容等	団体数	
1	文化系活動団体	①舞台芸術系	ハーモニカ、マンドリン、合唱、歌謡教室、吹奏楽団、吹奏楽部等（高校4）、演劇、バレエ	11団体
		②伝統芸能系	日本舞踊3、能、箏曲、大正琴2、尺八	8団体
		③美術系	川柳、史談会、書道、華道、茶道、写真、水墨画	7団体
		④文化協会	福知山市、三和町、大江町、夜久野町	4団体
		⑤その他	コンサート実行委員会、演劇実行委員会	2団体
2	大学・教育	大学、学校教育振興会	2団体	
3	子育て	子ども向けの公演を開催する団体、子育て支援団体、保育協会	3団体	
4	障害者支援団体	身障連、聴言センター、家族会	3団体	
5	商工観光	商工会議所、商工会、JC、観光協会、商店街3、まちづくり会社	8団体	
6	楽器店	市内楽器店3	3団体	
7	地域・高齢者団体	老人クラブ、自治会	2団体	
8	照明技術者	民間事業者2	2団体	

ヒアリング結果（まとめ）

■活動状況 ①公演・発表等

※複数施設回答可

●演奏会・発表会等 ▲展示 □式典・集会等

	厚生会館		ハピネス	交流プラザ	その他
	ホール	中会場等			
舞台芸術系	●吹奏楽 ●ブラスバンド ●バレエ		●歌謡教室	●ハーモニカ	●夜久野ふれあいプラザ（演劇） ●大江町総合会館（尺八） ●綾部市農業振興センター（バレエ、琴） ●中丹文化会館（バレエ） ●舞鶴市総合文化会館（バレエ） ●丹波市春日文化ホール（マンドリン） ●ホテル（マンドリン、尺八、障害者支援）
伝統芸能系	●日本舞踊 ●大正琴		●日本舞踊	●日本舞踊 ●能	●京町会館（能）
美術系		▲華道 ▲書道		▲華道 ▲茶道 ▲水墨画 ▲写真 ▲川柳	▲総合福祉会館（華道、老人クラブ）
文化協会その他	●クラシックコンサート ●文協フェスタ	▲文協 フェスタ			●▲夜久野ふれあいプラザ（文化協会）
その他 文化系活動団体 以外	□入学式（大学） □研修会等（学振） ●招聘コンサート（子育て） □集会（障害者団体） □敬老祝賀会（自治会長会） □総会/講演会等（J C） ▲スイーツフェス（観光協会） □株主総会等（3セク）		□総会/ 研修会等 （老人クラブ） □講演会 （商工会）	□講演会 （商工会）	●武道館（子育て） □夜久野ふれあいプラザ（商工会） ●中丹文化会館 ●丹波市立ライフピアいちじま

➡文化活動に関わる公演や発表、各種の会議・集会に際しては、厚生会館ホールを含めて多くの施設が利用されている。ジャンルや集客人数とともにアクセスや駐車場等の状況に応じて、施設が選択されていることがうかがえる。

多くの活動において市内の施設が利用されるが、舞台芸術系においては、舞台設備や鑑賞条件の良い大規模施設として中丹や舞鶴など市外の施設も利用される。

ヒアリング結果（まとめ）

■活動状況 ②日常的な活動

※複数施設回答可

●演奏・練習等

▲作品制作・練習等

□会議・勉強会等

	厚生会館		ハピネス	交流プラザ	コミセン等	その他
	ホール	中会場等				
舞台芸術系				●ハーモニカ ●混声合唱 ●歌謡教室	●マンドリン ●混声合唱	●ハーモニカ（福社会館） ●吹奏楽（学校、自前の練習所） ●歌謡（自宅） ●バレエ（自前の練習所）
伝統芸能系				●能（和室） ●大正琴	●日本舞踊 ●大正琴 ●尺八	●日本舞踊（堀会館） ●能（個人宅/綾部アリーナ）
美術系			□史談会	▲茶道 ▲写真 ▲水墨画 □史談会	□川柳	□川柳（福社会館）
文化協会その他				●▲子育て		□文化協会（三和荘） □文化協会（夜久野支所）
その他		□商工観光	□地域 □商工観光	□子育て □商工観光 2		□子育て（三段池会議室/ホテル） ▲障害者支援（堀会館/福社会館） □商工観光（福社会館） ●教室（大学） ●楽器店（店舗）

➡日常利用は、文化団体の練習やその他団体の会議等、ジャンルを問わず、交流プラザが良く利用されている。また、コミセンなど地域の小規模な施設の利用も多く、自前の練習場所を持つ団体もある。

部屋の広さとともに、天井の高さ、音を出す・映像を使う、水を使う、畳が必要など、利用人数や活動内容によって施設や部屋が選択されていることがうかがえる。日常的に厚生会館を利用している団体は少ない。

ヒアリング結果（まとめ）

■活動状況

③会場選びで重視すること（公演・発表利用）

【舞台芸術系】

- ・客席規模がちょうどいいこと (ハーモニカ)
- ・無料で使える駐車場があること (ハーモニカ、歌謡教室)
- ・コンクール会場と同じような響き、舞台の大きさ (吹奏楽部)
- ・控室が足りていること (吹奏楽部)
- ・楽器運搬が可能なこと (吹奏楽部)
- ・気軽に来場できる場所にあること (バレエ)
- ・照明、音響設備がしっかりしていること (バレエ)

【伝統芸能系】

- ・エレベーターがあること (大正琴)
- ・利用後そのまま食事会ができる場所があること (尺八)
- ・料金が安いこと (尺八)

【その他】

- ・客席の規模が丁度よいこと (実行委員会、子育て、商工観光)
- ・無料または安価な駐車場があること (写真、文化協会、障害者支援、商工観光)

➡公演・発表利用は、会場選びの基準として、無料または安価な駐車場があることを挙げている団体が最も多かった。

その他、基本的な設備を備えることが求められている。

ヒアリング結果（まとめ）

■活動状況

④会場選びで重視すること（日常利用）

【伝統芸能系】

- ・ 使用料金が安いまたは無料なこと （日本舞踊）
- ・ 部屋の広さがちょうどいいこと （能）
- ・ 部屋の換気ができること （能）

【その他】

- ・ 無料または安価な駐車場があること （写真、障害者支援、商工）
- ・ 予約の手続きが簡単であること （障害者支援）
- ・ 施設へのアクセスが良い、バリアフリーであること（子育て、障害者支援）

➡日常利用は、アクセスや駐車場の有無、活動に適した広さや控えの諸室など、施設の利便性を求める意見が多く、利用料金を気にする団体も多い。

障害者支援団体からは、施設がバリアフリーであることが絶対条件との声も聞かれた。

ヒアリング結果（まとめ）

■現厚生会館について

①利用頻度

		利用有り		
		1回以下/年	2回/年	3回以上/年
文化系団体	舞台芸術系	ハーモニカ、マンドリン（文協フェスタ） 混声合唱団		
	伝統芸能系	日本舞踊、大正琴（文協フェスタ）		
	美術系	茶道、華道（文協フェスタ）	書道（中小会場で展示）	
	その他	実行委員会2（事業）		
その他		子育て2、障害者支援3（福祉フェスタ）、商工観光2、楽器店	大学（ホールで入学・卒業式）	

➡多くの文化団体が、年1回の文協フェスタに参加する以外は、あまり利用しない。

複数回利用する団体は、中小会場で展示を行う書道団体やホールで入学式・卒業式を行う大学の2団体である。

ヒアリング結果（まとめ）

■現厚生会館について

②ホールの使い方

【舞台芸術系】

- ・平土間にして客席側にも舞台を設営し利用している（歌謡教室）
- ・舞台を使わず1階にステージを組み、2階から鑑賞する（吹奏楽）

【その他文化団体】

- ・平土間にして展示会場として利用している（文化協会）
- ・子ども向け人形劇の時は平土間にして利用している（実行委員会）

【その他団体】

- ・1000席は使用しないため1階のみ利用している（商工観光）
- ・子ども向けイベントなどで便利に椅子を並べ替えて使っている（子育て）

➡舞台芸術活動団体は、平土間に椅子を並べて客席として利用、美術系や文化系活動団体以外は、平土間のままで展示・イベントの利用をするのが通常である。

客席が多すぎる・空間が大きすぎる場合に、平土間へのステージ設営、1階のみの利用など、平土間部分を有効に活用している団体が見られる。

ヒアリング結果（まとめ）

■現厚生会館について

③会館の良い点・改善すべき点

【良い点】

	主な意見	カテゴリー	数
1. 立地	<ul style="list-style-type: none">・ 駅からのアクセスが良い・ 人が集まりやすい・ 商店街に近く、ついでに利用してもらえる	実行委員会、川柳、史談会、能、ハーモニカ、吹奏楽、商工観光2	8
2. なじみがある	<ul style="list-style-type: none">・ 市民にとってなじみがある・ 特別なイメージがある	書道、尺八、吹奏楽	3
3. 機能面	<ul style="list-style-type: none">・ 平土間をステージとして利用できる・ 客席と舞台が近く演奏しやすい・ 展示会など多目的に使える	実行委員会、子育て、高齢者団体、商工観光	4

ヒアリング結果（まとめ）

■現厚生会館について

③会館の良い点・改善すべき点

【改善すべき点】

	主な意見	カテゴリー	数
1. 駐車場	<ul style="list-style-type: none"> 無料で利用できる駐車場がない 駐車場がなく集客できない 	実行委員会、文化協会 川柳、史談会、能、尺八 ハーモニカ、マンドリン、吹奏楽2 子育て2、障害者支援 商工観光3、楽器店	17
2. 舞台・客席	<ul style="list-style-type: none"> 舞台が狭い、暗い 椅子の設営・撤去が大変 パイプ椅子に長時間座るのが辛い 一階後方から舞台が見づらい 	文化協会2、 川柳、日本舞踊、尺八、 混声合唱、歌謡、吹奏楽、 子育て3、障害者支援、地域	13
3. ホール機能	<ul style="list-style-type: none"> ホールの響きが悪い 音響照明設備が不足していて外注が必要である 	文化協会2、 史談会、能、ハーモニカ、マンドリン、 子育て、照明技術	8
4. 舞台裏 (楽屋、搬入)	<ul style="list-style-type: none"> 楽屋が足りない 楽屋から舞台の動線に急な階段がある 専用の搬入口がなく、搬入が難しい 	実行委員会2、 日本舞踊、吹奏楽2、 子育て、楽器店2	8
5. 諸室など	<ul style="list-style-type: none"> 中会場の天井が低く展示に不便である 和室から水場が遠い 会館の利用者以外は館に入りにくい雰囲気がある 多機能トイレなどバリアフリーに対応できていない 	書道、文化協会、華道、茶道、教育、 地域、障害者支援	7

ヒアリング結果（まとめ）

■ 現厚生会館について

④ 利用しない理由

【文化系団体】

- ・ ホールの響き（建築音響）がよくない (マンドリン)
- ・ 客席規模が大きい (琴、尺八)
- ・ 舞台音響、照明の技術スタッフの手配にお金がかかる (能)
- ・ 本格的な舞台音響・照明が整っていないので、市外施設を利用している (バレエ)
- ・ 和室が水場から遠く使いにくい (茶道)

【その他団体】

- ・ 舞台音響、照明の技術スタッフの手配にお金がかかる (子育て)
- ・ 1000人規模では客席が大きく、イベントは行いにくい (商工観光)

➡多くの団体が、厚生会館の中心市街地内で人が集まりやすい立地、なじみやすい特別な存在であることを評価している。

平土間部分は、展示や人形劇など多様な使い方ができることを評価する声もあれば、椅子を並べたときに後方の席から舞台が見にくい、椅子の設営撤去に手間がかかるといった課題もある。

駐車場の不足、ホールの音響、舞台の大きさや設備・楽屋の不足、搬入条件、バリアフリーなどホール施設に求められる基本性能の不備を課題に挙げる声が多く、利用者以外は入りづらい雰囲気、技術スタッフの不在や備品の不足等、管理運営に関わる点についての指摘もみられた。

ヒアリング結果（まとめ）

■ 市内・近隣施設について

① よく利用する施設（市内）

利用される施設（市内）	利用目的	主な利用団体
市民交流プラザ	公演・発表（6団体）	文化協会、川柳、写真、茶道、水墨画、日本舞踊
	日常活動（13団体）	文化協会、川柳、華道、茶道、写真、水墨画、能、大正琴、ハーモニカ、合唱、子育て2、商工観光
ハピネスふくちやま	公演・発表（3団体）	日本舞踊、歌謡、高齢者団体
	日常活動（3団体）	史談会、地域、商工観光
人権ふれあいセンター堀会館	日常活動（1団体）	舞踊
総合福社会館	公演・発表（1団体）	華道
	日常活動（1団体）	川柳
地域コミュニティセンター	日常活動（4団体）	川柳、日本舞踊、琴、マンドリン
武道館	公演・発表（1団体）	子育て
大江町総合会館	公演・発表（1団体）	尺八
三和荘	公演・発表（1団体）	文化協会
民間施設	公演・発表（2団体）	尺八、マンドリン

ヒアリング結果（まとめ）

■ 市内・近隣施設について

② よく利用する施設（近隣市）

利用される施設（市外）	利用目的	主な利用団体
中丹文化会館	公演・発表（4団体）	川柳、華道、バレエ、照明技術
綾部市農業振興センター	公演・発表（1団体）	大正琴
舞鶴市総合文化会館	公演・発表（1団体）	バレエ
丹波市春日文化ホール	公演・発表（1団体）	マンドリン
綾部アリーナ	公演・発表（1団体）	能
ライフピアいちじま	公演・発表（1団体）	楽器店

市内・近隣施設

- ➡市内での練習の場は市民交流プラザが多いが、高稼働率のため予約の取得が難しい。活動団体の拠点となる場が不足しているとの意見もあった。
- ➡公演利用では、現状市内には環境の整った施設が不足しており、舞台演出や能舞台などを必要とする活動や、生音を中心とした音楽団体の発表などの活動の場が、一部市外の施設に移っている。

ヒアリング結果（まとめ）

■新施設にのぞむこと

【思い・方向性】

- ・ 本格的な舞台芸術を鑑賞できるホールに（実行委員会、教育、商工観光、楽器店）
- ・ 若い人たちに文化を届けられる施設に（書道）
- ・ 子どもたちが舞台に立つことを誇りに思える施設を（吹奏楽）
- ・ 日常的に人が集まり、にぎわう施設を（文化協会、商工観光、楽器店）
- ・ 多くの方に 愛され、親しまれるホールに（合唱）
- ・ 誰もが 利用しやすい施設を（日本舞踊、文化協会、障害者団体、バレエ）
- ・ 市民も運営にかかわり、自分たちのホールだと思える施設に（実行委員会、演劇）
- ・ 市内高校大学の連携拠点、大学生と地域の人々が繋がり、コンテンツを生む（大学）
- ・ 文化振興のシンボルに（文化協会）
- ・ 地方の公共ホールの成功事例を参考に（能、琴、実行委員会）

➡本格的な舞台芸術の鑑賞の場であるとともに、誰にでも利用しやすく日常的に賑わう場を望む意見が多数あった。

また、学生と地域の人々がつながり、コンテンツを生みだすホール、市民も運営に関わり自分たちのホールと思える施設、子どもたちや市民の誇りとなり、市の文化振興のシンボルとなる施設を求める声も多数あった。

ヒアリング結果（まとめ）

■新施設にのぞむこと

【ソフト面】

- ・市民の**声**が反映される**運営**をして欲しい（文化協会、合唱）
- ・わかりやすい**予約の仕組み**を作って欲しい（茶道）
- ・前日の準備日は安くなるなどの**料金体系**を検討して欲しい（文化協会、尺八、楽器店）

【ハード面】

- ・施設の立地は便利な**現地での建て替え**がよい（史談会、日本舞踊、尺八、ハーモニカ、商工2、地域）
- ・水害のリスクが低く駐車場の確保が容易な**三段池公園への移転**が良い（商工、照明技術）
- ・客席数は現状の**厚生会館と同規模**がよい（文化協会、尺八、楽器店）
- ・**600～800席**のクラシックでも使いやすい規模がよい（実行委員会）
- ・有名な**アーティストのツアー**が来る客席数がよい（書道、子育て）
- ・多目的ホールよりも**音楽ホール、文化ホール**がよい（実行委員会、日本舞踊）
- ・**展示もできる多目的ホール**がよい（文化協会、商工会議所）
- ・日常的な利用、賑わい創出のため、**図書館や商業施設との複合**（文化協会、商工会議所）
- ・その他、**段床客席、搬入、バリアフリー、舞台設備の充実、駐車場の充実**等多数

➡ソフト面では、より使いやすい制度の導入や、市民の要望が反映できるような仕組みを求める声が多い。

➡ハード面では、立地に関して利便性の高い現地を望む意見が多い一方、水害の可能性や駐車場の確保の点で郊外を推す意見も見られた。

ホールの客席数、ホールの性格については多様で、ホールの基本性能としては、現厚生会館の機能面の不足を改善した施設を求める意見が多数あった。

ヒアリング結果（まとめ）

各項目のまとめ（再掲・主要部分強調）

■活動状況（公演・発表利用）

➡文化活動に関わる公演や発表、各種の会議・集会等に際しては、厚生会館ホールを含めて多くの施設が利用されている。

ジャンルや集客人数とともに**アクセスや駐車場等の状況に応じて、施設が選択**されていることがうかがえる。多くの活動において市内の施設が利用されるが、舞台芸術系においては、**舞台設備や鑑賞条件の良い大規模施設**として中丹や舞鶴など**市外の施設も利用**される。

➡公演・発表における会場選びの基準として、駐車場が十分にあることを挙げている団体が多かった。

その他、諸室や備品等、基本的な設備を備えていることが求められている。

■活動状況（日常利用）

➡日常利用は、文化団体の練習やその他団体の会議等、ジャンルを問わず、交流プラザが良く利用されている。また、コミセンなど地域の小規模な施設の利用も多く、自前の練習場所を持つ団体もある。**日常的に厚生会館を利用している団体は少ない。**

部屋の広さとともに、天井の高さ、音を出す・映像を使う、水を使う、畳が必要など、**利用人数や活動内容によって施設や部屋が選択**されていることがうかがえる。

➡**日常利用はアクセスや駐車場の有無、活動に適した広さや控えの諸室など、施設の利便性を求める意見が多く、利用料金を気にする団体も多い。**障害者支援団体からは、施設が**バリアフリー**であることが絶対条件との声も聞かれた。

ヒアリング結果（まとめ）

■ 現厚生会館

➡ **多くの文化団体**が、**年1回の文協フェスタに参加**する以外は、あまり利用しない。複数回利用する団体は、中小会場で展示を行う書道団体やホールで入学式・卒業式を行う大学の2団体である。

➡ 舞台芸術活動団体は、平土間に椅子を並べて客席として利用、美術系や文化系活動団体以外は、平土間のままで展示・イベントの利用をするのが通常である。客席が多すぎる・空間が大きすぎる場合や、平土間へのステージ設営、1階のみの利用など、**平土間部分を有効に活用している**団体が見られる。

➡ 多くの団体が、厚生会館の中心市街地内で**人が集まりやすい立地**、**なじみやすい特別な存在**であることを評価している。平土間部分は、展示や人形劇など**多様な使い方ができる**ことを評価する声もあれば、椅子を並べたときに**後方の席から舞台が見にくい**、**椅子の設営に手間がかかる**といった課題もある。

➡ 駐車場の不足、ホールの響き、舞台の大きさや設備・楽屋の不足、搬入条件、バリアフリーなどホール施設に求められる**基本性能の不備**を課題に挙げる声が多く、利用者以外は入りづらい雰囲気、技術スタッフの不在や備品の不足等、**管理運営に関わる点についての指摘**もみられた。

■ 市内・近隣施設

➡ 市内での練習の場は市民交流プラザが多いが、高稼働率のため予約の取得が難しい。**活動団体の拠点となる場が不足している**との意見もあった。

➡ 公演利用では、現状市内には環境の整った施設が不足しており、舞台演出や能舞台などを必要とする活動や、生音を中心とした音楽団体の発表などの活動の場が、**一部市外の施設に移っている**。

ヒアリング結果（まとめ）

■ 新施設に望むこと

➡本格的な**舞台芸術の鑑賞の場**であるとともに、誰にでも利用しやすく**日常的に賑わう場**を望む意見が多数あった。

また、**学生と地域の人々がつながり**、コンテンツを生みだすホール、**市民も運営に関わり自分たちのホール**と思える施設、**子どもたちや市民の誇り**となり、市の**文化振興のシンボル**となる施設を求める声も多数あった。

➡ソフト面では、**より使いやすい制度**の導入や、**市民の要望が反映できる**ような仕組みを求める声が多い。

➡ハード面では、立地に関して**利便性の高い現地**を望む意見が多い一方、**水害の可能性や駐車場の確保の点で郊外**を推す意見も見られた。

ホールの客席数、ホールの性格については多様で、ホールの基本性能としては、現厚生会館の**機能面の不足を改善**した施設を求める意見が多数あった。

Webアンケート（中間報告）、WS（中間報告）

■ Webアンケート

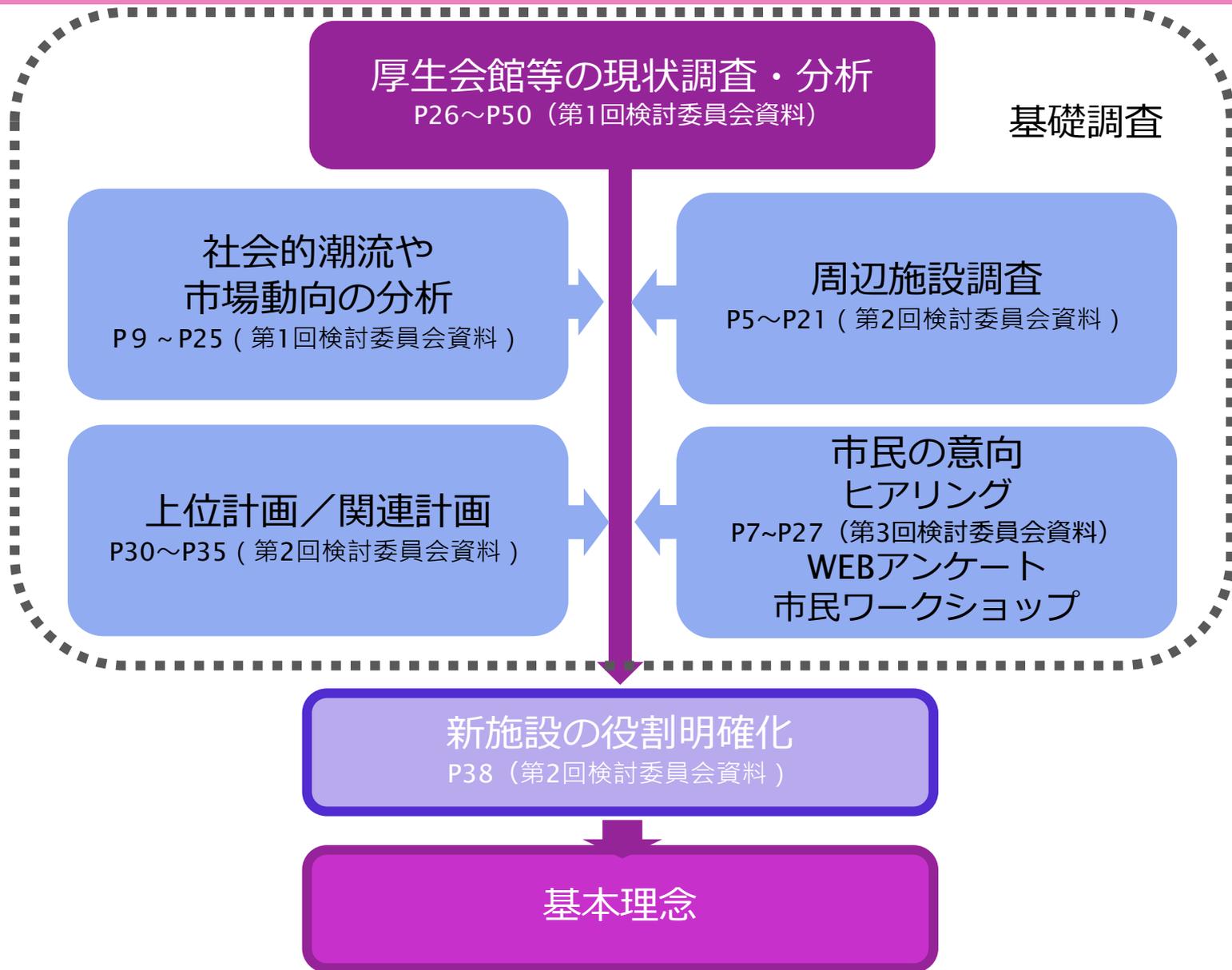
1. 実施期間 令和4年8月17日（水）～9月30日（金）
2. 実施方法 市HP、市LINE、市Twitter、設問票配布

■ WS（第1回・第2回のまとめをP35に掲載）

WS日程	内容
8月29日（月）	福知山市や現施設の良いところ・改善した方が良いところ
9月8日（木）	年間利用計画をシミュレーションし、新施設の将来像を考えよう
9月29日（木）	年間利用計画から必要な機能・規模を考えよう
11月頃	使いやすい諸室の配置を考えよう
12月頃	今後の市民参加について考えよう

4. 新文化ホールの基本理念（案）

新文化ホールの基本理念（案）



基礎調査のまとめ（未定稿）

厚生会館の現状と課題

- ・ **市民の文化、厚生、産業等の向上及び振興に寄与**することを目的として1962年に開館。（条例）
- ・ **利用傾向**：ホールは音楽会等の鑑賞、集会利用、展示会等の利用が大半を占める。平土間利用が約1/3。その他諸室は会議利用が中心で、展示等にも利用。全体的に稼働率は低調。（利用状況調査）
自主事業はクラシックコンサートやスタインウェイピアノの体験演奏会など年数回。
- ・ **利用主体**：行政利用が最多。学校行事や団体等のイベント・式典など定期的な利用が多い。
利用者がこれら一部の団体に限定される傾向。（利用状況調査より）
- ・ **施設課題**：基本的機能不足：駐車場不足、搬出入環境、舞台設備、会場防音性能、1階客席パイプ椅子老朽化等；備品の故障や不足、漏水、バリアフリー環境の不足など

国の文化/芸術関連政策

- ・ 文化芸術そのものの振興にとどまらず、**観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業**その他の関連分野における施策との有機的な連携を図る。
- ・ 劇場は地域の発展を支える「**新しい広場**」
- ・ 「**世界への窓**」にもなる公共財
- ・ **社会包摂機能**の基盤

市の計画（まちづくり・文化等）

- ・ 市民が「幸せを生きる」まち
（まちづくり構想 福知山）
- ・ 多くの市民による**文化・芸術活動の振興**
- ・ **知る・見る・感じる機会を提供し、新たな魅力を創出**
（文化振興基本方針）

市内・近隣の類似施設の状況

- ・ **市内には小規模ホールが多数あり**、多くが平土間施設で、**質の高い舞台芸術の上演鑑賞には物足りない**。
- ・ H26開館の**市民交流プラザ**は高稼働率で、会議室等は予約が取りづらい状況にある。
- ・ 近隣市町には、**中規模以上の多目的ホールが多数あり**、**施設や事業に特徴を持つ施設も多い**。
（中丹、舞鶴、豊岡、等）
- ・ 舞台設備が充実し、鑑賞条件に優れた施設では、市民や学校等の発表会のほか、広域を対象とした音楽コンクールや自主事業等による著名アーティストのコンサートや芝居等を実施している。

新文化ホールへの市民の意向

⇒市民意向調査、ヒアリング、WS、Webアンケート

※次ページ以降参照

基礎調査のまとめ（未定稿）

新文化ホールへの市民の意向（文化振興基本方針策定時の市民意向調査）

■市の文化振興に関わる施策への市民の評価

- ・「文化施設の充実」や「文化芸術の鑑賞の機会の充実」は、取り組みの優先度が高い分野と評価されている。
- ・「子どもが文化芸術に親しむ機会の充実」「子どもが地域の文化や伝統を学ぶ機会の充実」といった、子どもを対象とした施策へのニーズが高い。

■文化芸術活動を主に行う場所

- ・公共施設が市民の文化活動を促進するうえで、重要な役割を担っていることが伺える。

■福知山市の文化芸術振興の目指すべき将来像

- ・「文化芸術が観光やまちづくりに活用され、多くの人を訪れるまち」への支持が最も高い。
- ・「プロアマ問わず活動が盛んに行われ、発表・交流の機会が豊富にあるまち」、「鑑賞機会が多く提供され、誰もが文化芸術を身近に触れることができるまち」、「市民が地域の歴史文化や伝統文化に親しみ、その保存や活性化に多くの人がかかわるまち」、それぞれの項目で一定数の支持を得ており、多面的な視点での文化振興が求められている。

基礎調査のまとめ（未定稿）

新文化ホールへの市民の意向（ヒアリング）

■発表・公演等の活動の状況

- ・文化活動団体による**厚生会館大ホール**の利用頻度は低く、他施設を利用する団体も多い。
- ・会場の選定要件は、利用目的に見合った**施設の大きさや設備、駐車場**などである。

■日常的な活動

- ・文化団体の練習や諸団体の会議等に**厚生会館の諸室**が使われることは少なく、**市民交流プラザ**が利用され、**コミセン**など多様な施設が使われている。
- ・会場の選定要件は、アクセスや**駐車場、活動に適した部屋の広さ、料金、バリアフリー**などがある。

■現厚生会館について

- ・現施設の特徴である平土間は、椅子を並べて客席としたり、展示空間として利用するのが一般的だが、**客席とする場合は、後方席からの見づらさ、設営撤去の労力**が問題である。
 - ・客席や空間が大きすぎる場合には、1階のみを利用したり平土間にステージを設営するなど、工夫しながら利用する団体もあり、**いろいろな使い方ができる**という評価もある。
 - ・**中心市街地で人が集まりやすい立地**で、**なじみのある施設**が評価される一方、課題も多い。
- 【基本性能】 駐車場、ホール音響、舞台の大きさや設備・楽屋、搬入条件、バリアフリー等。
【管理運営】 利用者以外は入りづらい雰囲気、技術スタッフ不在、減免が無い料金体系等。

■新文化ホールに期待すること

- 方向性 : **本格的な舞台芸術の鑑賞の場、誰でも利用しやすく日常的ににぎわう場、学生と地域の人々がつながりコンテンツを生み出す場、市民も運営に関わり自分たちのホールと思える施設、子どもたちや市民の誇りとなり、市の文化振興のシンボルとなる施設**という方向性が期待されている。
- ソフト面 : **使いやすい利用規則の設定、市民の要望が反映できる仕組みづくり**が求められている。
- ハード面 : **基本的な設備の充実、駐車場の確保、水害への対応、利便性の高い立地等**が求められている。

基礎調査のまとめ（未定稿）

新文化ホールへの市民の意向（WS 第1回、第2回まで）

■市や現施設へのじまん・ふまを新文化ホールでどう活用もしくは改善するか

・新文化ホールに対しては、「**基本的な設備・機能の充実**」「**バリアフリー**」などを備えたうえで、**若い世代を中心に高齢者、障がい者も誰もが楽しめるホール**であることを求める意見が多くあった。

また、福知山市には素晴らしい歴史や引き継いでいきたい伝統が多数あることから、こうした**福知山らしさの活用、新たな文化の創造**などの意見もあった。

■新文化ホールでやってみたいこと・やってほしいこと

- ・鑑賞事業：**音楽系のイベント、まちぐるみで開催するフェスティバルや親子で楽しめるイベント**
伝統芸能や民俗資料など福知山らしさを活かしたイベント
- ・育成事業：**体験型ワークショップ、創作講座、各種講座等**
- ・市民参加：**若い世代に参加してほしいという思いから、若い世代が参加しやすい仕組みづくり、楽しめる取り組み等**を実施しようという意見があった。
- ・日常的な特別な催事がない日でも**日常的に憩える、創造性や感性を育む場**であってほしいという願いが多くみられた。

■新文化ホールの将来像

- ・「**鑑賞・発表の場**」⇒プロからアマチュア、学生まで利用できる施設、文化芸術を鑑賞できるホール
- ・「**音楽に触れられる環境**」⇒福知山で音楽会ができる、様々な音楽を体験・発表できる
- ・「**各種文化芸術活動が可能な環境**」⇒舞台芸術（クラシック、ダンス、演劇、伝統芸能等）、展示
- ・「**日常的なにぎわい**」⇒気軽に立ち寄れる、人が自然と集まれる、いつ訪れても心癒される
- ・「**多世代での交流**」⇒老若男女が安心して集える、多様なグループが集まれる、活動者同士の交流促進
- ・「**市民目線の運営**」⇒市民が使いやすいホール、専門家が常駐、避難所機能、空調や音響の性能向上
- ・「**文化振興の拠点**」⇒非日常を味わえる場、北近畿の芸術の中心、文化圏の中心

基本理念（基本的な役割）

新文化ホールの基本的な役割

1) 「知る・見る・感じる」機会の充実を通じた文化振興

良質な文化芸術の鑑賞から、気軽に参加できる講座やワークショップ、市民が舞台に立つ作品づくりなど、多様な文化芸術に触れる機会を充実します。

文化団体等の練習・発表等には、情報や交流機会の提供などを行い、活動を支援します。

自主事業と貸館事業が連携した「知る・見る・感じる」機会の充実を通じ、福知山市の文化振興を推進します。

2) 次世代の活動支援・人材の育成

これからの福知山市の文化振興の担い手となる子どもたちや若い世代のために、専門家と協働した講座等を実施し、相談の場を設ける等、サポート体制も整えて、基盤となる人材育成に寄与します。

3) 市民の居場所の創出による、出会いや交流の促進

だれもが目的がなくても立ち寄り、日常的ににぎわい、市民が憩える居場所とします。

あわせて、立ち寄った市民が文化芸術に触れやすい空間の提供、事業の提供に取り組み、文化芸術との出会いや文化芸術を通じた交流を深める場とします。

基本理念（基本的な役割）

4) 福知山市の地域資源を活かした新たな魅力の創造

福知山市に息づく豊富な歴史資源や地域の伝統の活用、分野を超えた連携を行うことにより、福知山市ならではの新たな文化活動・新たな魅力を創造します。これらの地域資源の継承・保存・発展・新しい発見により、文化による地域の活性化を推進します。

5) 「幸せを生きる」安心・安全なまちづくりへの寄与

観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業等、派生する分野とも連携し、市民が「幸せを生きる」まちづくりに寄与します。

災害対策等を十分に考慮し、安全・安心な施設整備を行います。

基本理念（案）

新文化ホールの基本的な考え方

基本理念

人をつなぐ、分野をつなぐ、時をつなぐ ～新たな福知山の魅力を築く文化振興・未来創造拠点～

新文化ホールは、福知山市における芸術文化、歴史文化、その他文化的な価値を有するあらゆる「文化」の振興を推進する拠点として、また福知山市の未来を見据え、次世代を担う子どもたちをはじめ、市民の夢や希望の実現を目指す未来創造の拠点を目指す施設です。

芸術鑑賞の機会の充実、文化に触れるきっかけづくりや様々な活動支援の提供、文化活動を通じた多世代での交流の活性化、日常的に憩える場づくり等、文化を振興するための環境を整備するとともに、福知山市のさまざまな歴史資源や文化資源を活かした新たな活動の創造等、魅力の創出に努めます。

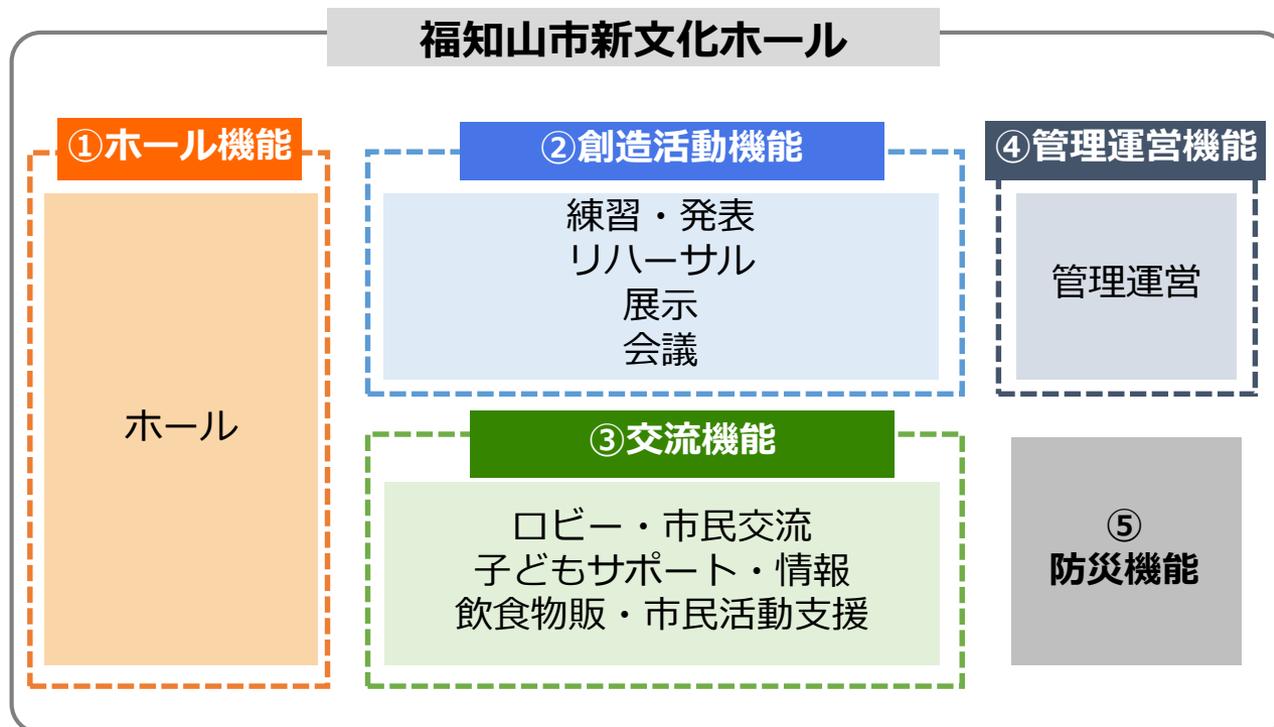
福知山市にとどまらず、北近畿エリアを視野に広域での人と人をつなぎ、教育やまちづくりなど多様な分野をつなぎ、過去と現在・未来をつなぐ等、様々な「つながり」を生むことによって、互いを刺激し、新しい福知山市の文化、ひいては福知山市の未来のまちを生み出していく拠点となることを目指します。

5. 施設等の概要（案）

新文化ホールの施設整備方針（案）

1) 施設機能と構成

新文化ホールが、基本理念のもとでその役割を果たし、たくさんの市民が訪れ、さまざまなかたちで文化や芸術・地域の資源に触れ、さまざまな活動とつながりの中で新たな福知山の文化・魅力を生みだし、市民の誇りとなるよう、施設に必要な機能を整理します。



2) 施設機能と構成

①ホール機能

<ホール>

- 優れた音響性能を備え、音楽をはじめとした様々な舞台芸術等に対応する多機能ホールとします。
- 基礎調査での厚生会館の利用状況や施設利用団体へのヒアリング結果から、収容人数は500人～800人程度を想定します。
- 客席については、固定席として優れた鑑賞場所を提供するか、平土間ホールの可動席として多目的に利用可能とするか検討します。
- 鑑賞に適した座り心地の良い座席とするとともに、障害者や高齢者の利用に配慮します。
- 多様な演目に対応可能な十分な舞台の大きさと舞台設備を備えます。
- 楽屋や搬入など、バックヤードを充実させ、利用者が使いやすい施設とします。

新文化ホールの施設整備方針（案）

②創造活動機能

- 市民の日常的な創造・発表活動を支える機能として設けます。
- 日常的な練習の場として楽器演奏やダンス等、音の出る活動に対応した防音性能を備えたスペース、絵画や華道、書道等の美術活動に対応し、作品を展示することができるスペース、その他研修や会議等に対応するスペースなどの配置を検討します。
- ホールの利用者が舞台に近い空間でリハーサルを行ったり、練習の成果を披露する小規模な発表に対応できるスペースを検討します。
- これらの機能については、近隣の公共施設等との機能分担を考慮しながら配置します。

新文化ホールの施設整備方針（案）

③交流機能

- 誰もが気軽に訪れ、施設に賑わいをもたらす機能として設けます。
- 市民が、施設で展開される文化芸術活動やさまざまな地域資源に触れたり刺激を受けて新たな活動に参加するきっかけとなる場になるよう、次の配置を検討します。
 - a. 明るいロビーや市民の憩いの場となる交流スペース
 - b. 子どもが遊んだり親子でくつろげるスペース
 - c. 市の文化・観光に触れることができる情報スペース
 - d. 飲食や物販のためのスペース
 - e. 自由に使えるベンチやテーブル
 - f. 施設の利用等、様々な活動をする市民をサポートするためのスペース
- 交流機能のエリア全体において、インターネット環境（Wi-Fi）の整備を検討します。

新文化ホールの施設整備方針（案）

④管理運営機能

- 施設全体の維持管理等を行う機能として設けます。
- 総合案内や諸室貸出の管理を行う管理事務スペースを設けます。
- 市民の利用の相談を受けるスペースや活動者同士をつなぐ機能、市民団体等の利用を想定した打合せスペースなどの配置を検討します。

⑤防災機能

- 新文化ホールは、防災機能を備えたものとしします。

3) 施設規模

- 施設全体、諸室の配置・室数等、具体的な施設規模については、建設地も含めて基本計画において検討します。
- 諸室や空間は、さまざまな使い方に対応できる「多機能」なものとするこゝで、稼働率を高めるとともに、面積を抑えながらも多様な市民のニーズに対応できることを目指します。

4) 駐車場

- 敷地の立地や広さにあわせて最大限の駐車場台数を確保することを目指します。
- 敷地周辺に公共施設駐車場や時間貸し駐車場がある場合は、連携等について検討します。

5) 施設配置

- 敷地形状や立地条件を踏まえ、歩行者や車利用者、出演者、搬入車両が極力交錯せず、それぞれが安全に来館できる動線に配慮した配置とします。
- 建物内においては、ホールの観客、出演者、主催者、搬出入、その他の施設利用者等の動線に配慮し、明確なゾーニングを検討します。
- また、周辺環境に配慮し、ホール建物による日影、搬入大型車両やバス、来場者の自家用車や人の集中による騒音・振動等の影響を極力抑えるような配置を検討します。

新文化ホールの施設整備方針（案）

6) 施設整備における配慮事項

- 上記に加えて、今後の施設整備においては、以下に留意しながら検討します。

安全性	地震や水害等の自然災害に対する強度、避難所機能など
利便性、快適性	ユニバーサルデザイン、バリアフリー など
経済性、効率性	建設費、維持管理費の抑制 など
環境共生	ゼロエネルギー、自然エネルギーの活用 など
まちづくり	まちの資源との連携による地域の魅力向上 など

新文化ホールの建設地要件（案）

- 建設地の選定にあたっては、新施設が果たすべき役割や機能・構成等をふまえるとともに、法規制や行政計画、公共交通機関や道路等のアクセス条件をはじめ、下表のような様々な観点から検討します。
- 市の財政状況および整備スケジュール等を勘案して、現有市有財産を活用する方針としています。

項目		評価内容
立地	用途地域	・ 劇場（興行場）が建設可能な用途か （商業地域、近隣商業地域、準工業地域であれば可）
	来場者アクセス	・ 最寄り駅等からの距離、歩行環境は整っているか ・ 鉄道、バス等公共交通の利用可能路線数および運行頻度は十分か
	周辺環境	・ 飲食商業、観光施設等と連携し、市街地活性化に寄与できるか ・ 教育文化・集会施設、公園等と連携し、文化・レクリエーションエリア等の拠点形成に寄与できるか ・ 公共駐車場や時間貸し駐車場が立地するか ・ ホール来場者の集中、搬入車両の通行等による影響はないか
	政策との整合性	・ 都市計画マスタープラン等による位置づけ等の整合がとれるか
敷地	規模・形状	・ 求められる機能・諸室が無理なく配置できるか
	建物高さ制限	・ 道路斜線、隣地斜線、高度地区、日影規制等による建物高さ制限に抵触しないか
	前面道路状況	・ 催事の際の搬出入が容易にできるか
	その他	・ 支持地盤深さ、液状化の可能性の有無は ・ 自然災害の危険性の有無は

6. 管理運営の考え方（案）

管理運営の基本的な考え方（案）

基本理念に則り、さまざまな「つながり」を生み、福知山市の「文化振興」と「未来創造」をめざす場として、次の点に留意しながら管理運営の検討を進めていきます。

- ・ **芸術文化と市民を「つなぐ」ための多様な鑑賞機会、体験機会の提供**

文化振興の基盤となる環境づくりや持続的に活動が可能な仕組みを作ります。事業実施に際し、専門的な人材の配置等を含めた十分な人員体制を検討します。

- ・ **若い世代が中心となって人と人を「つなぐ」懸け橋となるための市民参加の推進**

大学生を始めとした地域の若い世代が活躍できるよう、整備段階から積極的な市民参加・参画を進めます。市民の主体的な活動を通じた交流の促進を図ります。

- ・ **「つながり」のきっかけをつくるための、日常的に居心地の良い空間づくり**

特別なイベントがなくても、誰もが気軽に施設を訪れ、日常的に憩える空間づくりに努めます。

- ・ **福知山市の豊かな歴史資源と文化資源を「つないで」生まれる独自の文化づくり**

福知山市の地域資源の活用や連携によって福知山市ならではの独自の文化づくりや新たな魅力を創造していくため、福知山市の人材を含む資源の掘り起こしを行い、それらを有機的に結びつけることで、新たな作品や活動づくりを目指します。

- ・ **文化と他分野を「つなぎ」、文化の力を活かしてまちを活性化する連携事業の推進**

市内の様々な対象や他分野等と積極的に連携することによって、新文化ホールでの活動・にぎわいが施設内にとどまらず、まちへと波及し、まち全体の活性化、まちづくりへの寄与を図ります。

組織の考え方（案）

管理運営主体の考え方

- 現在、公の施設を管理運営する方法として、設置者である市が直接運営を行う「直営」と事業者に運営を委任する「指定管理者」による運営があります。
- 文化施設の主な管理運営業務については、下表のとおりですが、いずれの業務においても求められる専門性が異なるため、業務毎にそれぞれ専門性を持った人員を配置することが重要です。また、社会包摂の観点から障害者の雇用の場や活動の支援も含めて考える必要があります。
- 今後、新文化ホールの基本理念を実現するために相応しい管理運営主体のあり方を検討します。

項目	業務概要
自主事業	各種事業の企画・制作・実施
市民参加	市民参加の相談窓口・調整・事務局機能
貸館事業	ホールやその他諸室の貸出管理
広報宣伝事業	広報・チケット販売管理
舞台技術管理	舞台機構・照明・音響の機器操作・管理、安全管理
維持管理	施設・設備の維持管理・メンテナンス、清掃、防災管理